

建設業・製造業が業況回復傾向に！

建設業は5期連続上昇 消費税の駆け込み需要による効果か？

当所では、藤枝市内小規模事業所の経営動向を把握するため、四半期ごとに景況調査を実施しています。

平成26年1月～3月期の調査がまとまりましたので、概要を報告します。

※本調査は、製造業・建設業・卸売業・小売業・サービス業の5種200社を対象に行っています。今回の回収数は166社で、回収率は83.0%でした。

【主要な表現について】○業況判断：調査対象企業が自らの業績に下した判断。

○D1値：(増加・好転と回答した割合) - (減少・悪化と回答した割合) 悪化すればするほどD1値は▲(マイナス)になります。

管内全産業の業況

業種別業況判断の推移(表1)：全産業の業況判断は、前期(H25年10月～12月期)比で5.3ポイントのプラス、前年同期比で12.1ポイント改善しました。特に建設業は、前年同期と比較して消費税の駆け込み需要の効果から完成工事高・請負工事高が回復しています。製造業も6期ぶりにマイナスから脱却して回復傾向にあり、特に、引き合いや売上・加工高が上昇しています。

全産業売上高の推移(表2)：売上高も前期調査から10.7ポイント、前年同期比からは26.4ポイントの大幅改善となっています。

全産業雇用人員の推移(表5)：雇用は持ち直しの兆し、3.5ポイントとプラスに転じています。

